

2020年度第13回執行理事会議事録

日程：2021年6月12日（土）11:00-12:45

【WEB会議】

出席者：磯崎，中澤，佐々木，平田，岡田，
松田，高嶋，矢部，ウォリス，辻森，
星，亀高，大藤，小宮，狩野，緒方，坂
口

欠席：なし

事務局 澤木

*定足数（過半数：9）に対し，17名の出席

*前回議事録（20-12回）の確定。

報告事項

1. 全体の報告

・産業標準化事業表彰候補者として，産業技術環境局長表彰・産業標準化貢献者表彰および経済産業大臣表彰にそれぞれ1名ずつ会員を推薦した。

・緊急事態宣言が延長になったことを受けて，新型コロナウイルス感染拡大防止に関する学会の対応を6/1付でHPに掲載した。宣言発出の地域では，引き続き対面形式の学会主催行事を中止し，事務局はテレワークを継続する。

・日本学術会議大型研究計画マスタープランに関する提案『地球惑星研究資料のアーカイブ化とキュレーションシステムの構築』について：

①関連学会に対し共同提案者または賛同者としての協力を依頼した（日本鉱物科学会，地球環境史学会，日本堆積学会，日本古生物学会，日本地球化学学会）

②日本学術会議地球惑星委員会地球惑星企画分科会のもとに，「学術試料共有小委員会（委員長：堀 利栄，副委員長：木村 学）が設立され，その第1回会合が5/22に開かれた。

2. 運営財政部会（緒方・亀高）

1) 総務委員会

<共催・後援依頼，他団体の募集等>

・男鹿半島・大潟ジオパーク内での研究活動

に関する補助金制度・各種申請手続きの支援制度のお知らせがあった【→geo-flash, ニュース5月号掲載】

・文部科学省より、令和4年度版学習資料「一家に1枚」企画募集があった(締切6/30)【→geo-flash, ニュース5月号掲載】

・令和4年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞および若手科学者賞受賞候補者の推薦依頼があった。締切:7/21(学会締切:7/2)【→geo-flash, ニュース6月号掲載】

・石灰石工業協会より書面にて新年度役員就任の挨拶を頂いた(会長:関根福一氏(重任))

・新潟大学旭町学術資料展示館 企画展「殻」(会期:7/21-8/29)への後援依頼があり、承諾した。

<会員>

1. 今月の入会者(9名)

正会員(2名):松永豪・花井崇

正(院割)会員(7名):野部勇貴・加藤真由子・小淵俊秀・唐 双寧・栗原那知・須蒲翔太・清水光基

2. 今月の退会者

なし

3. 今月の逝去者(2名)

正会員(2名):三好 誠(逝去日2021年5月4日)・留岡 昇(逝去日2021年6月1日)

4. 2021年5月末会員数

賛助:27, 名誉:37, 正会員:3239 [正:3180, 院割:57, 学部割:2] 合計 3303 (昨年比-149)

<会計>

・竹内主史会員より寄付金5千万円の入金を頂いた(5/27)。

<その他>

・事務局職員の新型コロナワクチン接種時の勤怠について、国策としての公衆衛生上の観点から、「出勤扱い」として勤怠処理することとした。

・会員管理システムのクラウド化については、複数社相見積もりを検討中。5年間程度の長期間のコストを比較して、次回執行理事会で検討予定。

3. 広報部会(坂口・小宮)

1) 広報委員会(坂口)

・5/9以降Q&Aコーナーへの質問3件, 2件回答済み。

・ジオルジュ 2021年前期号を発行した。

・学会HP英語版は現状では日本語版(会員システムと一体)とは異なるシステムで構築されており、修正などが迅速にできない。会員システムのクラウド化とタイミング合わせて、和英統一したシステム運用に移行し、迅速な編集体制を整えたい。

4. 学術研究部会(辻森・ウォリス・星)

1) 行事委員会(星)

・2021名古屋大会について

⇒5/20より学術大会演題登録・講演要旨受付を開始した(締切6/30)

⇒e-posterなど新たな試みについて、会員

に向けた説明会を開催予定(6/21(月)12:30よりzoom)。

⇒予告記事(ニュース誌4月号)以降で、e-poster, 表彰式関連, 懇親会などについて変更点があるので、HP, ニュース誌, geo-Flashで周知する。

・2022年早稲田大会巡検コースに:LOCより9コースの提案があった。

・ショートコース第3回 5/23(日)津波堆積物(講師 藤野滋弘・後藤和久)を開催した。参加申込90名(参加実数:87名・84名)。第4回 7/18(日)論文・科学のあり方(講師 磯崎行雄・泊 次郎)の参加申込受付中(締切7/5)。第5.6回は21年秋開催予定。

・日本地球化学会2021年度年会特別セッション「北日本におけるグローバル地球科学総合研究」が地質学会共催で9/9or10(弘前大)で実施。地質雑に特集号を投稿予定。

2) 専門部会連絡委員会(辻森)

・環境地質部会と地質環境長期安定性研究委員会との合流については、9月理事会で提案予定で準備中。10/1からの発足を目指している。

3) 国際交流委員会(ウォリス)

特になし

4) 地質標準化委員会(辻森)

特になし

5. 編集出版部会(大藤・狩野)

1) 地質学雑誌編集委員会(大藤)

(1) 編集状況報告(6月10日現在)

・2021年投稿論文:21 [内訳] 論説12(和文11, 英文1), レター1(和文1), 報告2(和文2), ノート3(和文3), 口絵3(和文2, 英文1)

査読中:29, 受理済み:13(うち特集号10)

・127巻5月号:通常号 論説2, レター1, 報告1(60頁, 発行済)

・127巻6月号:名古屋巡検案内書3, 通常号 論説1, レター1, 報告1(55頁, 校正中)

2) アイランドアーク編集委員会(狩野)

・編集状況報告があった。最近投稿数が減少気味のため積極的に投稿をしてほしい。特に特集号の提案を求めている。

3) 企画出版委員会(小宮)

・やばすぎ! 古生物図鑑(日本地質学会監修, 宝島社, 2019年発行)の7000部重版が決定した(2021年7月上旬予定)。監修者に修正箇所を確認中。

6. 社会貢献部会(松田・矢部・高嶋)

1) 地学教育委員会(高嶋)

特になし

2) 地質技術者教育委員会(佐々木)

①地質技術者教育委員会活動(委員の追加および第2回委員会開催)②JABEE関連(2021年そJABEE定時総会開催報告, 天野委員長フェロー認定ほか)③2021年度委員会事業(高校生対象の広報活動, 業界研究サポートほか)についてそれぞれ資料での報告があっ

た。

3) 生涯教育委員会(矢部)

特になし

4) 地震火山地質こどもサマースクール(松田)

・5月30日に開催されたサマースクール関係者会議に参加した。群馬県内の感染拡大によりもう一年サマースクールの開催延期を決定。2022年の開催地のエントリーはなしのため、延期は可能。

・これまでのサマースクールの活動を紹介する内容でJpGUの学協会セッションの申請を検討していく。

・来年のサマースクールも状況によってオンラインになる可能性があるため8月16~18日の間に、試験開催をする。オンライン開催に向けての素材の撮影やオンラインの試験発信を行なうイベントを開催し、問題点や実施に向けての可能性を探る。

5) 地質の日(矢部)

・地質の日オンライン一般講演会が好評であった。9月に予定している街中ジオ散歩の開催可否については6月中に判断する。

7. その他執行理事会の下に設置される委員会

1) 利益相反マネージメント委員会(中澤)

特になし

8. 理事会の下に設置される委員会

1) ジオパーク支援委員会(委員長天野:代理平田)

特になし

2) 地学オリンピック支援委員会(高嶋)

・地学オリンピック日本委員会より、第14回日本地学オリンピック予選・本選問題作成者の推薦依頼があり、会員1名を推薦した。

3) 支部長連絡会議(平田)

特になし

4) 地質災害委員会(松田)

・特になし

5) 名誉会員推薦委員会(佐々木)

・6月12日総会において候補者3名の承認を諮る。承認されれば、就任式は9月5日名古屋大会においておこなう予定であり、当人への通知、就任メッセージなどについて事務局が中心となって準備を開始する。なお、当委員会の任期は今年の12月までであるが、実質的な委員会活動は総会終結をもって終了となる。

6) 各賞選考委員会(中澤)

・2021年度委員長の交代:委員間の互選により、西 弘嗣理事を各賞選考委員会2021年度委員長に選出した。

7) ジェンダー・ダイバーシティ委員会(委員長 堀 利栄)

・座談交流会(ジェンダー・ダイバーシティ委員会Workshop)開催予定:多様な視点で地質学会に物申そう!「地質分野の多様性を増やすには:持続可能で闊達な学会を目指して」(2021年8月1日(日)10:00-11:30, 遠隔開催(Zoom))

8) 法務委員会(委員長 松田博貴;代理 中

澤)
特になし
9) 連携事業委員会 (中澤)
特になし
9. 研究委員会
1) 地質環境長期安定性研究委員会 (委員長 吉田英一)
特になし
2) 南極地質研究委員会 (委員長 小山内康人)
特になし

I 審議事項

1. 2021年度総会, 第1回理事会の議事および資料の確認
総会・理事会の議事・進行について確認した。
2. ショートコースの動画視聴について
講師の許諾が得られた場合のみ動画視聴を可とし, ダウンロードやURLの再配布など行わないよう参加者に強く呼びかける。また, CPD受講証明書は当日出席者のみを対象として発行する。
3. 各賞の賞金の廃止, 見直しについて

学会の財政難と関連学協会の状況からも, 賞金廃止は妥当との意見も上がるなか, 若手会員へ賞の授与は研究奨励の目的が大きいため, 若手に対する賞には賞金を継続させるべきとの意見もあった。次回継続審議とした。

以上

2021年7月10日
一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長 (代表理事) 磯崎行雄
署名人 執行理事 中澤 努